

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年 1 月 6 日

【発行者の名称】 アルゼンチン共和国
(The Republic of Argentina)

【代表者の役職氏名】 政府代表
Diego Capelli

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 黒丸博善

【住所】 東京都千代田区永田町二丁目13番10号
ブルデンシャルタワー
東京青山・青木・狛法律事務所

【電話番号】 東京(03)5157-2700

【事務連絡者氏名】 弁護士 黒丸博善
弁護士 渡邊大貴

【住所】 東京都千代田区永田町二丁目13番10号
ブルデンシャルタワー
東京青山・青木・狛法律事務所

【電話番号】 東京(03)5157-2700

【縦覧に供する場所】 該当なし

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

アルゼンチン共和国の発行済サムライ債に関し、平成22年3月26日に提出した有価証券届出書（平成22年4月22日、4月28日、4月30日、5月14日および6月3日に提出した有価証券届出書の訂正届出書により訂正済み）の記載事項のうち、数値または日の確定方法を記載した事項について確定した事項等につきお知らせするため、本訂正届出書を提出するものであります。

2【訂正の内容】

1. 対象金額100,000円に対する対価

元本削減債オプションに基づく対価合計 - 2005年前対象証券の申込み

申し込まれ、受諾された2005年前対象証券の対象金額	発行される元本削減債の当初元本金額	発行される元本削減債に対する2009年12月31日（同日を含まない。）までに元本に組入れられた利息	インターナショナル・ジョイント・ディーラー・マネージャーの手数料相当額控除後に保有者が受領することとなる2017年グローバル債の元本金額	発行されるGDP連動証券の想定元本金額
100,000円	33,000円	4,412.9円	46米ドル	100,000円

元本削減債オプションに基づく対価 - 前期申込期限後の大口債権者による2005年前対象証券の申込み

申し込まれ、受諾された2005年前対象証券の対象金額	インターナショナル・ジョイント・ディーラー・マネージャーの手数料相当額控除後に発行される2017年グローバル債の元本金額
100,000円	37米ドル

元本削減オプションに基づく対価合計および対価 - 2005年対象証券の申込み

申し込まれ、受諾された2005年対象証券のシリーズおよび対象金額	発行される元本削減債の当初元本金額	発行される元本削減債に対する2009年12月31日（同日を含まない。）までに元本に組入れられた利息	発行される元本削減債の当初元本金額	発行される元本削減債に対する2009年12月31日（同日を含まない。）までに元本に組入れられた利息
	対価合計が交付可能な場合	対価合計が交付可能な場合	対価が交付可能な場合	対価が交付可能な場合
対象金額100,000円の円建2005年元本削減債	21,000円	2,808.21円	20,000円	2,674.48円
対象金額100,000円の円建2005年元本維持債	25,000円	3,343.11円	24,000円	3,209.38円

元本維持オプションに基づく対価合計 - 2005年前対象証券の申込み

申し込まれ、受諾された2005年前対象証券の対象金額	発行される元本維持債の当初元本金額	インターナショナル・ジョイント・ディーラー・マネージャーの手数料相当額の控除後に保有者が受領する現金支払い	発行されるGDP連動証券の想定元本金額
100,000円	100,000円	1,085円	100,000円

元本維持オプションに基づく対価合計 - 2005年対象証券の申込み

申し込まれ、受諾された2005年対象証券のシリーズおよび対象金額	発行される元本維持債の当初元本金額
対象金額100,000円の円建2005年元本削減債	26,000.00円
対象金額100,000円の円建2005年元本維持債	47,000.00円

2. 2005年元本維持債取引価格

2005年元本維持債の通貨	2005年元本維持債取引価格
日本法に準拠する円建2005年元本維持債	15.11%

3. 元本維持債オプションに対する按分比例係数

元本維持債オプションを選択したすべての対象証券の保有者による申込金額は、グローバル・オファリングおよび本エクスチェンジ・オファーについてアルゼンチンが設定した元本維持債オプション上限額である20億米ドル（またはその他の通貨の相当額）を超過した。したがって、アルゼンチンは、元本維持債オプションを有効に選択した申込みを行った保有者間で按分比例方式により、元本維持債オプションを割当てた。アルゼンチンは、按分比例係数を76.3267%に決定した。すなわち、アルゼンチンは、元本維持債オプションを有効に選択した各申込みの76.3267%の対象金額を受諾した。元本維持債オプションについて受諾されなかった対象証券のすべての申込みは自動的に、元本削減債オプションに再割当てされた。

4. 発行された新証券の元本総額

新証券のシリーズ	ISINコード	発行された新証券の元本総額（元本削減債オプションの前期決済において発行された新証券を含む）
円建元本削減債	ARARGE03G738	2,449,883,000円
	ARARGE03G753	99,077,000円
円建元本維持債	ARARGE03G746	852,071,000円
	ARARGE03G761	1,812,000円
2017年グローバル債	XS0501195480	3,258,210米ドル
円貨GDP連動証券	ARARGE03E675	7,934,881,000円

5. 交換済金額

ISINコード	証券の名称	消却された金額
JP503200ASC0	第4回アルゼンチン共和国円貨債券（1996）	2,776,000,000円
JP503200AWC2	第5回アルゼンチン共和国円貨債券（1999）	410,000,000円
JP503200A061	第6回アルゼンチン共和国円貨債券（2000）	2,934,000,000円
JP503200A095	第7回アルゼンチン共和国円貨債券（2000）	1,780,000,000円

6. 利払日

すべての2017年グローバル債は、2010年6月2日から利息が発生する。前期決済に関し発行された元本削減債に対する初回利払いは、2010年6月30日付に行われ、最終決済に関し発行された元本維持債および元本削減債に対する初回利払いは、申込みを行う保有者の口座に新証券が記入される際に行われる。最終決済に関し発行された円建の新証券は、かかる新証券に対する初回利払いととも、2010年9月27日に交付された。